



芸術文化センター
オープニングシリーズ
Opening Series

vaslav nijinsky
le sacre du printemps

choreography after vaslav nijinsky.
reconstructed and staged by millicent hoodson
décor and costumes after nicholas roerch.
reconstructed and supervised by kenneth archer
sets and costumes produced by and rented
from the finnish national opera

バレエ・音楽史上類を見ない衝撃が蘇る!!

オープニング・バレエ・ガラ
よみがえるニジンスキー版
春の祭典

白鳥の湖 第2幕
スーパースターの
饗演!
ディアナ・
ヴェシニョワ
アンドリアン・
ファジェーエフ
ヤンヤン・タン
デヴィッド・アーシー
平山素子

2005.11月12日(土)・13日(日)

各日2:00PM開演

料金=A8,000円/B6,000円/C4,500円/D3,000円/E2,000円(全席指定/税込)

ご予約・お問合せ=

芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM 土日祝休み)

チケット発売所=

- 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:361-136]
- ローソンチケット 0570-000-103 [Lコード:54511]
- CNプレイガイド 06-6776-1199
- イープラス <http://eee.eplus.co.jp> (パソコン&携帯電話)

兵庫県立芸術文化センター 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口すぐ/JR西ノ宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

【指揮】クリスチャン・オロサス
【管弦楽】兵庫県芸術文化センター管弦楽団
【企画制作アドバイザー】寿井憲二【舞台監督】森岡 肇
【照明】宮川博喜(芸術文化センター)・大野 治(「白鳥の湖」)
【テクニカルマネージャー】関谷潔司(芸術文化センター)

- ◎主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター、神戸新聞社、兵庫県洋舞家協会
- ◎企画・制作:兵庫県立芸術文化センター
- ◎制作協力:兵庫県洋舞家協会、フィンランド国立オペラ、NBAバレエ団
- ◎助成:財団法人地域創造

※未成年児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者・演目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
※お席の種類によっては、完売の場合があります。事前にご確認ください。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

春の祭典 vaslav nijnsky le sacre du printemps

誕生間もない新しいホールに刻まれる新たな歴史の始まり。

ヴィシニョワが来る! ヤンヤン・タンが来る! —— その最初の歴史を飾るにふさわしい豪華な顔ぶれて、クラシック・バレエ史上不朽の傑作として幅広く愛されている「白鳥の湖」「時の踊り」のほか、歴史的にも重要な意義をもつストラヴィンスキー「春の祭典」ニジンスキー振付初演版をわが国初の自主制作により復刻上演します。演奏はホールのオープンとともにデビューしたばかりの兵庫芸術文化センター管弦楽団。新しい歴史の軌跡を記した記念碑的作品が、誕生間もない兵庫県立芸術文化センターで上演される注目の公演。ここ兵庫県・西宮に感動芸術の発信拠点として新しくオープンするホールに刻まれる、新たな歴史の始まりです。

バレエ史上そして音楽史上類を見ない衝撃の作品が蘇る!
現代音楽史上最も重要な作品であり、「春の神」への礼賛と生贄として捧げられる一人の乙女を描いたストラヴィンスキーの傑作「春の祭典」は、1913年5月、当時大旋風を巻き起こしていたディアギレフのバレエ・リュスにより、パリのシャンゼリゼ劇場でニジンスキー振付、ピエール・モンテュー指揮によって初演された。不協和音や難解なリズムの連続、複雑なリズム、巨大なオーケストラ編成等は、それまでの音楽の常識を遙かに超え、この初演はスキャンダラスで音楽史上伝説的な大センセーションを巻き起こした。加えて舞踊の歴史を壊すニジンスキーの斬新な振り付けにより、劇場内は大パニックに陥ったという。しかし、後にこの作品は20世紀の歴史をかえりない記念碑的作品として認められていくことになるのだ。

ニジンスキーの振付に触れ、ダンサーに出会う!
伝説的なダンサーでありバレエに新たな息吹を吹き込んだヴァツラフ・ニジンスキー振付「春の祭典」が日本に居ながらにして見られるというのはバレエファンならずとも胸躍るニュースである。バレエを根底から覆すような振付が復元上演の世界を牽引するマリセント・ホドソンによって再現され、ニコライ・レーリッヒのフリミティヴで美しい美術がケネス・アーチャーによって復元される。1913年の初演時パリの観客が驚き、最終狂化したこの作品を自分の目で確かめる機会は、主役、生贄の乙女を踊る平山素子、クラシック・バレエからコンテンポラリー作品まで幅広く踊りこなす、洗練されているが骨太という独特の持ち味を醸し出すデヴィッド・アーシー、また「白鳥の湖」の振付家としてあまりに有名なマリウス・プティパ振付「ラ・ジヨング」より、時の踊りも上演される。1883年に初演され、2000年B.A.バレエによる再現上演が非常に話題になった逸品。今回踊るのは真珠浜田バレエ団の上村未香、貞松正一郎。

「白鳥の湖」を踊るヤンヤン・タンはサンフランシスコバレエ団の華やかなプリンシパル。ばねのあるしなやかな身体から繰り出される決して下品にならない超絶技巧が会場を沸かせることは必至。その他出演が予定されているのは、キロフ・バレエ団のディアナ・ヴィシニョワ、アン・ドリアン・ファジェエフら、いずれも新星のようなダンサーたちである。

この魅力一杯の公演でバレエの歴史的作品に触れると共に素敵なお楽しみに出会ってほしい。
芳賀直子(舞踊研究家)

PROGRAM

<第1部>

不朽の名作
『白鳥の湖』

(チャイコフスキー作曲)より第2幕

出演:ヤンヤン・タン
デヴィッド・アーシー
兵庫県洋舞家協会

原振付:マリウス・プティパ
レフ・イワノフ

振付:馬場美智子
(兵庫県洋舞家協会)
ジェイ・チュン
(タン振付アドバイザー)

<第2部>

『ラ・ジヨング』(ボンキエリ作曲)より
“時の踊り”

出演:上村未香
貞松正一郎
兵庫県洋舞家協会
原振付:マリウス・プティパ
再振付:ナタリヤ・ヴォスクレシンスカヤ

『ロミオとジュリエット』(トマソン版)
(プロコフィエフ作曲)よりバルコニーシーン

出演:ヤンヤン・タン
デヴィッド・アーシー
(原付アドバイザー:ジェイ・チュン)

『ドン・キホーテ』(ミンクス作曲)より
出演:ディアナ・ヴィシニョワ
アンドリアン・ファジェエフ ほか

<第3部>

蘇る初演の興奮
『春の祭典』

(ストラヴィンスキー作曲)

出演:平山素子
兵庫県洋舞家協会

原振付:ヴァツラフ・ニジンスキー
原美術:ニコライ・レーリッヒ
復元振付:マリセント・ホドソン
復元美術:ケネス・アーチャー
装置・衣裳:フィンランド国立オペラ

フィンランド国立バレエ公演「春の祭典」より



© Sakai Yuka



ディアナ・ヴィシニョワ
Diana Vishneva



アンドリアン・ファジェエフ
Andrian Fadeyev



ヤンヤン・タン
Yuan Yuan Tan



デヴィッド・アーシー
David Arce



平山素子
Motoko Hirayama



<指揮>
クリスチャン・オロサヌ
Cristian Orosanu

ケネス・アーチャー(舞台美術コンサルタント) & マリセント・ホドソン(振付家)
Kenneth Archer and Millicent Hodson
新作のほか傑作モダン・バレエの復刻上演を積極的に行っている。「春の祭典」は1987年に初めて復元されて以来、パリオペラ座など各地でレパートリー上演され、バレエファンに衝撃を与え続けている。初来日。

兵庫芸術文化センター管弦楽団
Hyogo Performing Arts Center Orchestra

阪神・淡路大震災の復興のシンボルとしてオープンする芸術文化センターの専属オーケストラとして、わが国では初めてセンターの団員とともにデビューするプロフェッショナル・オーケストラ。定期演奏会、特別公演、室内楽演奏会、青少年鑑賞公演、アウトリーチ活動、プロデュースオペラへの出演など、多彩な活動を展開する予定です。

2005年10月 OPEN

http://www.gcenter-hyogo.jp

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

便利なアクセス!!
●阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ
●JR 西ノ宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
●ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

